

Characteristics of the old and homeless: identifying distinct service needs

Kimbler KJ, DeWees MA, Harris AN

Aging Ment Health (2017) ;21(2):190-198

本研究は加齢とホームレスに関する特性を特定するために、2つのホームレス緊急避難所でシェルターを探している若者から高齢までの成人ホームレスの横断面データを利用し分析を行なっている。先行研究では、健康と社会的要因の組み合わせが高齢期にホームレスになる大きな一因となることを示唆している。Crane and Warnes (2001) では精神的健康問題や薬物乱用の経験がある高齢者は、生活の支えや経済的支援を行なっていた配偶者が亡くなった後ホームレスになる危険度が高いことを示唆した。本研究では、人口統計、自己評価健康状態、メンタルヘルスや住居などに関する質問から分析が行われ、その結果、高齢のホームレスの健康状態や社会的支援を受けている程度、ホームレスの期間、雇用などの様々な特性がホームレスから脱却できない壁となっていることが明らかとなった。